

1年美術科

☆教科の目標

- 楽しく美術の活動に取り組み、美術を愛好する意欲と態度を育てる。
- 対象を深く観察する力、豊かに発想し構想する能力や基礎的技能を身につける。
- 自然や美術作品などについて、基礎的な見方を知り、良さや美しさを感じ取る鑑賞の能力を育てる。

☆評価の観点・方法

- 美術への関心・意欲・態度
 - 材料、道具の準備
 - 制作に役立つ資料を自主的に準備しているか
 - 制作に集中しているか
 - 提出物の期限
 - 発表
- 発想や構想の能力
 - 様々なアイデアを出して作品を考えているか。
 - アイデアスケッチ
 - 構図・構成
- 創造的な技法
 - 材料や手段の工夫
 - 作品の完成度
- 鑑賞の能力
 - 鑑賞メモの内容
 - 発言内容
 - 校内作品展の見学 等

☆特色ある学習方法

- 各題材の中に、生徒が選択できる幅（テーマ・材料等）をもたせることで、「自分の作品」としてこだわりをもたせると共に、個性の伸長をはかる。
- 短時間題材（発想を大切にもの）と時間をかけてつくる題材（制作過程や完成度の高さを大切にもの）、鑑賞をバランス良く織り交ぜることで、美術の力を総合的に育成する。

	題 材	題材のねらい・身につける力
一学期	◇美術との出会い（オリエンテーション） ◇色面構成の基本技法 ◇夢をレタリングする。	美術を学ぶ意義を理解する。グラデーションを通して課題制作の心構えと評価方法を確認する。 ポスターカラーの溶き方や筆の使い方、色の塗り方を覚える。 自分の夢や想いを9個の文字に託し、レタリング辞典から文字を写す。定規で線を引き色の三要素、配色の技法等を生かしながら着彩していく。
二学期	◇友達の感動にふれよう（夏休みの課題の鑑賞） ◇世界にひとつのオリジナルパズル ◇構成美の要素	風景面の鑑賞のポイントを知り、互いの作品を評価し合う。 動植物などの自然物や身近な持ち物まで自分になじみのものをテーマにオリジナルパズルをデザインし制作する。カーボン紙、電動糸鋸、紙やすり、ニスの使用方も学習する。 美しいと感じるものには、形や色の組み立てに秩序がある。その秩序を組み合わせて構成することで変化や統一の画面が作れることを確認する。
三学期	◇エリックカールの絵本作り（ビデオ鑑賞） ◇のこされた造形	「はらぺこあおむし」の作者が子供たちに絵本作りの様子を紹介。絵本づくりの心構えを学びます。 人類が原始や古代の時代からつくり、残してきた様々な造形物について、その制作の様子や作られた目的を推し量る。

2年美術科

☆教科の目標

- 自ら美術の活動に取り組み、美術を愛好する意欲と態度を育てる。
- 対象を深く観察する力、豊かに発想し構想する能力を一層高める。
- 自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。
- 自然、美術作品や文化遺産について理解や見方を深め、心豊かに生きることとの関わりに関心をもつ。

☆評価の観点・方法

- 美術への関心・意欲・態度
 - 材料、道具の準備
 - 制作に役立つ資料を自主的に準備しているか
 - 制作に集中しているか
 - 提出物の期限
 - 発表
- 発想や構想の能力
 - 様々なアイデアを出して作品を考えているか。
 - アイデアスケッチ
 - 構図・構成
- 創造的な技法
 - 材料や手段の工夫
 - 作品の完成度
- 鑑賞の能力
 - 鑑賞メモの内容
 - 発言内容
 - 校内作品展の見学 等

☆特色ある学習方法

- 各題材の中に、生徒が選択できる幅（テーマ・材料等）をもたせることで、「自分の作品」としてこだわりをもたせると共に、個性の伸長をはかる。
- 短時間題材（発想を大切にするもの）と時間をかけてつくる題材（制作過程や完成度の高さを大切にするもの）、鑑賞をバランス良く織り交ぜることで、美術の力を総合的に育成する。

	題 材	題材のねらい・身につける力
一学期	◇多様な表現を求めて ◇植物スケッチから想像画へスクラッチボード ◇イメージを届けるデザイン	美術の表現の多様さや独特な表現形式・方法に関心を深め、材料の特性などを理解する。 スケッチした植物画や身近な文具などを使い想像力を生かし超現実的な世界を創造的に表す。 身の回りにある書籍、カードなど印刷物のデザインに関心をもち、受け取る人のことを考えた内容や目的に合ったデザインの工夫を探り、グラフィックデザインの魅力や意義を考える。
二学期	◇友達の感動にふれよう（夏休みの課題の鑑賞） ◇リアルを追及しよう 和菓子 果物 文房具のどれかにエントリーして制作	風景画の鑑賞のポイントを知り、互いの作品を評価し合う。 本物そっくりに粘土を使って表現しよう。観察し研究しより良い形と色を見つけ出そう。材質の違いをだす工夫をしよう。
三学期	◇日本の美術と世界 ◇こころの想いを版に刻む。	日本の美術について、その時代や社会の変化、諸外国との交流に着目し興味や関心を持って鑑賞し、日本の美術の概括的変遷や固有の特色などへの興味や関心を高め、文化と伝統などについて理解し、その見方や感じ方を深める。 嬉しい自分や悲しい自分、強い自分や弱い自分、好きな自分や嫌いな自分などのこころの想いを、ニードルでアクリルの版に刻む。

*授業カット等により、一部実施できない場合もあります。

3年美術科

☆教科の目標

- 自ら美術の活動に取り組み、美術を愛好する意欲と態度を育てる。
- 対象を深く観察する力、豊かに発想し構想する能力を一層高める。
- 自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。
- 自然、美術作品や文化遺産について理解や見方を深め、心豊かに生きることとの関わりに関心をもつ。

☆評価の観点・方法

●美術への関心・意欲・態度

- 材料、道具の準備
- 制作に役立つ資料を自主的に準備しているか
- 制作に集中しているか
- 提出物の期限
- 発表

●発想や構想の能力

- 様々なアイデアを出して作品を考えているか。
- アイデアスケッチ
- 構図・構成

●創造的な技法

- 材料や手段の工夫
- 作品の完成度

●鑑賞の能力

- 鑑賞メモの内容
- 発言内容
- 校内作品展の見学 等

☆特色ある学習方法

- 各題材の中に、生徒が選択できる幅（テーマ・材料等）をもたせることで、「自分の作品」としてこだわりをもたせると共に、個性の伸長をはかる。
- 短時間題材（発想を大切にするもの）と時間をかけてつくる題材（制作過程や完成度の高さを大切にするもの）、鑑賞をバランス良く織り交ぜることで、美術の力を総合的に育成する。

	題 材	題材のねらい・身につける力
一学期	◇色彩の輝き ◇自分らしさ見つけて自画像を描く	印象派が生まれた時代背景や日本美との関連にも興味を持ち、社会的な視野でモネやルノワールの作品をとらえる。 「悲しいときの自分」と「嬉しいときの自分」や好きな物に囲まれてる自分などをコラージュなどのいろいろな表現技法を駆使し、自由な色彩表現を楽しみながら、自分自身の内面と向き合って表現する。
二学期	◇友達の感動にふれよう（夏休みの課題の鑑賞） ◇時代を映す美術（ピカソ「ゲルニカ」の鑑賞）	風景画の鑑賞のポイントを知り、互いの作品を評価し合う。 「ゲルニカ」の描かれた時代背景や社会の状況に関心を持ち、ピカソの生き方を通して、時代や社会と美術の関わりについて理解を深める。
三学期	◇アジアの多様な美術 ◇アートボックスの中に自分の世界をつくりだそう	アジア諸国の美術を鑑賞しそれぞれの文化や伝統に根ざした多様なよさや美しさを味わう。 卒業制作として今まで学んだことを全部活用して制作を進める、自分にしか出来ない世界をボックスの中に表現する。 素材を見つけるところからスタートする。

*授業カット等により、一部実施できない場合もあります。